

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

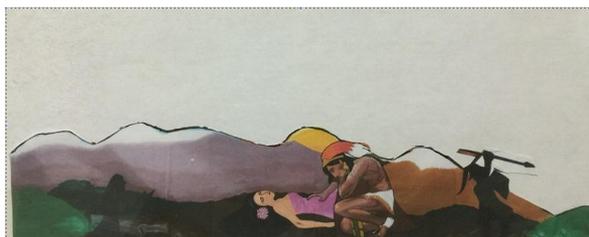
日本学校名 [青山学院大学] 担当教諭名 [横山 徹] (3年専門演習 7名)
 交流相手国 [メキシコ]
 海外学校名 [Universidad Veracruzana] 担当教諭名 [黒崎 充]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
	専門演習	専門演習	約15時間

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	二つの国、一つの物語
絵に込めたメッセージ	「二つの国、一つの物語」というテーマの通り、日本とメキシコそれぞれの国の有名な物語の中からストーリーが似ている物語を選び、「一つの物語」をテーマにした壁画を制作した。日本の学生がメキシコの「ポポカテペル・イスタシワトル」、メキシコの学生が日本の「七夕」を描いた。まずは Skype や Facebook を使って、壁画について話し合い、テーマや構図などを具体的に決め、日本が下半分に「ポポカテペル・イスタシワトル」を描き、メキシコが上半分に「七夕」を描いた。それぞれの描くところをはっきり分けるのではなく自然とつながりを持たせ、壁画全体が混然一体化した作品となるようにした。国は違っても、同じような話が語り継がれていたり、同じような精神があり、違った文化でもわかり合えると言うメッセージを込めた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
今回この活動に参加して、大きな壁画を二つの国の学生が協力して完成させることの難しさを知ったと同時に、国際交流の楽しさやお互いの人や国のことを知ることによって多くの学びがあること、みんなで協力して壁画を完成させることの楽しさ、さらに完成の喜びや達成感を共有することができた。最初は、どうなるか全くわからなかったこの壁画制作だが、次第に壁画が完成していく過程でたくさんの学びがあり、国を超え、多くの友人達と一つのものを創り上げる素晴らしさを実感することができた。	メキシコとの学期の違いや、14 時間の時差があることで Skype を使って交流可能な時間に限りがあったことやスケジュールを決めることに苦労した。しかし、日本のメンバーの数人がメキシコに行き、直接交流や話し合いができたことで、お互いのことをよく知ることができ、壁画制作の活動がスムーズに進めることができた。その成果として、その後の Facebook の交流も有効的に進めることができた。一方公式ツールである、フォーラムへのアップが遅れがちになることが多かった。お互いにテーマが決まらず時間がかかってしまったことは今後の反省点である。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
ベラクルス大学との交流は、今年2年目となるため、昨年とは違った視点で臨んだ。今年は幸運にも、ベラクルス州立大学で開催された日墨 400 周年記念イベントにアートマイルメンバーとして参加することができた。同じリアルタイムでも、Skype とは全く違った対面交流が実現した。その後の Skype のコミュニケーションがスムーズに展開されたことは、この交流がベースあったことによるところが大きいと感じた。	大学レベルとしての交流の方策を様々な分野と交流させながら、学生に還元できるよう意識するようになった。今年はメキシコのアートマイル所属学生2名が他大学のワークショップや留学のため来日することになった。アートマイルを起点とした、新たな国際交流の輪が広がることを願っている。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	6月	アートマイルについてのオリエンテーション	アートマイルについて理解し、活動への意欲がより一層高まった。先輩のすばらしい絵を見て自分たちも描けるのか、コミュニケーションは取れるのか、不安と期待に胸が膨らむ。	専門演習
テーマ学習	7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> メキシコについて情報収集をする 専用フォーラムや Skype、Facebook の使用方法の説明 本学卒業生の情報会社の方から Facebook の使用方法についてレクチャーを受けた。 相手国を描くこと、構図は一体とする基本方針を決める。 メキシコ訪問時にテーマを検討するための下絵を描くこととした。 	全く知らなかったメキシコのことを知ることができた。さらに、フォーラム、Facebook を使ったメキシコのメンバーの自己紹介や交流が始まり、壁画制作への期待が大きくなった。図書館でメキシコの昔話を探すが見つからず、他国のことを描くことの大変さをあらためて実感した。	専門演習
構図決定	7月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> 日本のメンバーでテーマ検討 第1回 Skype 会議 メキシコ研修旅行 5 名（うち1名は昨年の参加メンバー） 引率教員1名 メキシコでのアートマイルの交流会（昨年の壁画がベラクルス大学に展示） レストランでテーマの相談会 メキシコ研修報告会 	日本のメンバーがそれぞれ考えたアイデアや描きたいものをひとつのテーマにまとめるのに苦労した。第1回 Skype 会議ではメキシコのメンバーと自己紹介などの交流をし、相互理解ができた。メキシコに行き直接メンバーに会えたことでメンバーのパーソナリティーをより深く知ることができた。メキシコのメンバーと直接交流したことで、一緒に壁画をつくることへの期待に胸を膨らませせた。	専門演習

壁画制作	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回 Skype 会議 黒板や紙に描いたものを見合いながら大まかな構図や昔話の検討を2時間ほどかけて行う 壁画制作夏期休暇合宿で集中制作 後期授業開始後の時間を使って制作 	<p>テーマが決まり、壁画の下書きを描いた。メキシコのメンバーとも Skype を使ってどのように描くのか話し合いし、意見を出し合いながら下書きを完成させた。壁画制作では、作業を分担しながら協力し、意欲的に壁画制作に取り組むことができた。下描きを大きな壁画に写す作業や、色決めや色づくりにとても苦労した。特にグラデーションを美しく表現することに苦労した。自分たちの絵が次第に完成していくのを見てとてもわくわくした。</p>	専門演習
鑑賞・振り返り	1月	<ul style="list-style-type: none"> メキシコから完成した絵が黒崎先生の友人の来日時に合わせ、大学まで直接とどけていただく 青山学院のキャンパス内に展示 第3回 Skype 会議 	<p>メキシコでの壁画制作の様子はフォーラムや Facebook などで確認していたが、メキシコから完成した壁画が届き、実際に完成した壁画を見たときはとても感動した。Skype でメキシコのメンバーと一緒に壁画を鑑賞し、お互いに壁画についての感想などを話しあった。改めてお互いを理解し合い一緒に協力することの大切さを感じた。</p>	専門演習

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4.0	テーマが「物語」ということで日本の物語を調べたが、自分たちも知らないことが多くあった。さらに、日本の文化や物語をメキシコのメンバーに説明することの難しさを知り、どうしたら分かりやすく伝えられるのか試行錯誤したことが自文化理解につながった。
異文化の理解	A	4.7	メキシコ訪問を通し、実際に体験や見て得たものはたくさんあった。また、お互いに相手国の物語を描くということでメキシコの物語について調べ、分からないところは教えてもらうなどして、さらにメキシコについての理解を深めることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4.0	Skype や Facebook を通じた交流では、日本語の他に英語も活用した。自己紹介やお互いの文化について伝え合うことも Skype や Facebook を通して行いました。お互いに相手のことを知りたい気持ちや自分のことを伝えたい気持ちが伝わってきて、とても楽しく良い交流ができた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3.5	Facebook は、お互いがすぐに交流でき、さらに気軽に情報交換や情報発信など、有効的に活用することができた。日本の壁画制作の様子をメキシコのメンバーに伝えたり、逆にメキシコの壁画制作の様子もこまめに見ることができたりして、徐々に壁画が完成していく過程をお互いに確認することができた。フォーラムも自分たちの活動を発信するために有効的に使うことができた。

人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4.9	Facebook や Skype での交流をはじめとして、直接メキシコのメンバーに会うことで、より親密な関係が築けた。日本のメンバーとも壁画制作を通し、お互いの意見や考えを述べ、役割分担しながら活動に取り組むことで、友達としての絆を築くことができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4.9	メキシコの休暇に入るまでに、作品を送らなくてはいけない限られた制作時間だったからこそ、メンバーの中で自然と上手く役割分担し協力することができた。
学習を追究する意欲	B	3.7	様々な経験体験ができ、国際交流の素晴らしさに気付き興味を持ったので今後この経験を活かしていきたい。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4.6	日本のことはもちろん、メキシコのことも深く理解し、みんなで考えたテーマを基に、2つの国について一枚の壁画に表現することができた。
作品を鑑賞する力	A	4.7	日本とメキシコでどこを境にして描いたのか分からないくらい、まとまった壁画にすることができた。壁画制作におけるポイントや苦労したところをお互いに伝え合うことで、メンバーで協力して試行錯誤しながら取り組んだことを改めて実感し、喜びと達成感を味わうことができた。メキシコでは月や星の表現を黄色ではなく、白で表現するという発見もあった。上下を同じ面積にすると構図が限定されるためあえて描かないで、相手に託す部分も重要であると感じた。

※成果の評点は学生の自己評価の平均値を記載。またこの報告書は学生のレポートを基に編集した。